

札幌市文化資料室 企画講演会

創業の秋に臨んで：  
札幌市公文書館の未来

*Present at the Creation*

2011年10月21日

公益財団法人沖縄県文化振興会

富永一也

# はじめに： 話の組み立て

導入 扱うこと、扱わないこと

1. 公文書館とは何か

2. 開設期の留意点

3. 札幌市公文書館の未来

おわりに 将来世代の代理人たちを探せ

何を議論しないか

最も透明な札幌市公文書館設置  
へ向けての議論

=衆目にさらされているということ  
と参加可能性

# 何を議論しないか

札幌市公文書館基本構想検討委員会

第1回委員会 H20(2008).10.28

第2回～第6回 H20.11.27～H21.5.20

札幌市公文書館基本構想検討委員会

市民利用会議

第1回～第3回会議 H21(2009).1.29～3.18

市民利用会議からの提言 H21?

札幌市公文書館基本構想 H21.11

札幌市公文書館整備計画 H23.6

# 何を議論するか

- 目に見えないもの
- でも大切なもの

# 1. 公文書館とは何か

- 初期値設定の重要性
- 戦略は理念に、理念は哲学に従属させよ
- 危険な万能感
- 政治とのつきあい方
- マスコミとのつきあい方
- 組織評価の問題に向き合う
- 人材についての考え方

# 公文書館とは何か

公文書館法（昭和62年法律第115号）

によれば・・・

（第4条）

公文書館は、歴史資料として重要な公文書等（国が保管していた歴史資料として重要な公文書その他の記録を含む。次項において同じ。）を保存し、閲覧に供するとともに、これに関連する調査研究を行うことを目的とする施設とする。

# 「公文書等」とは何か

公文書館法（昭和62年法律第115号）

によれば・・・

この法律において「公文書等」とは、国又は地方公共  
団体が保管する公文書その他の記録（現用のもの  
を除く。）をいう。

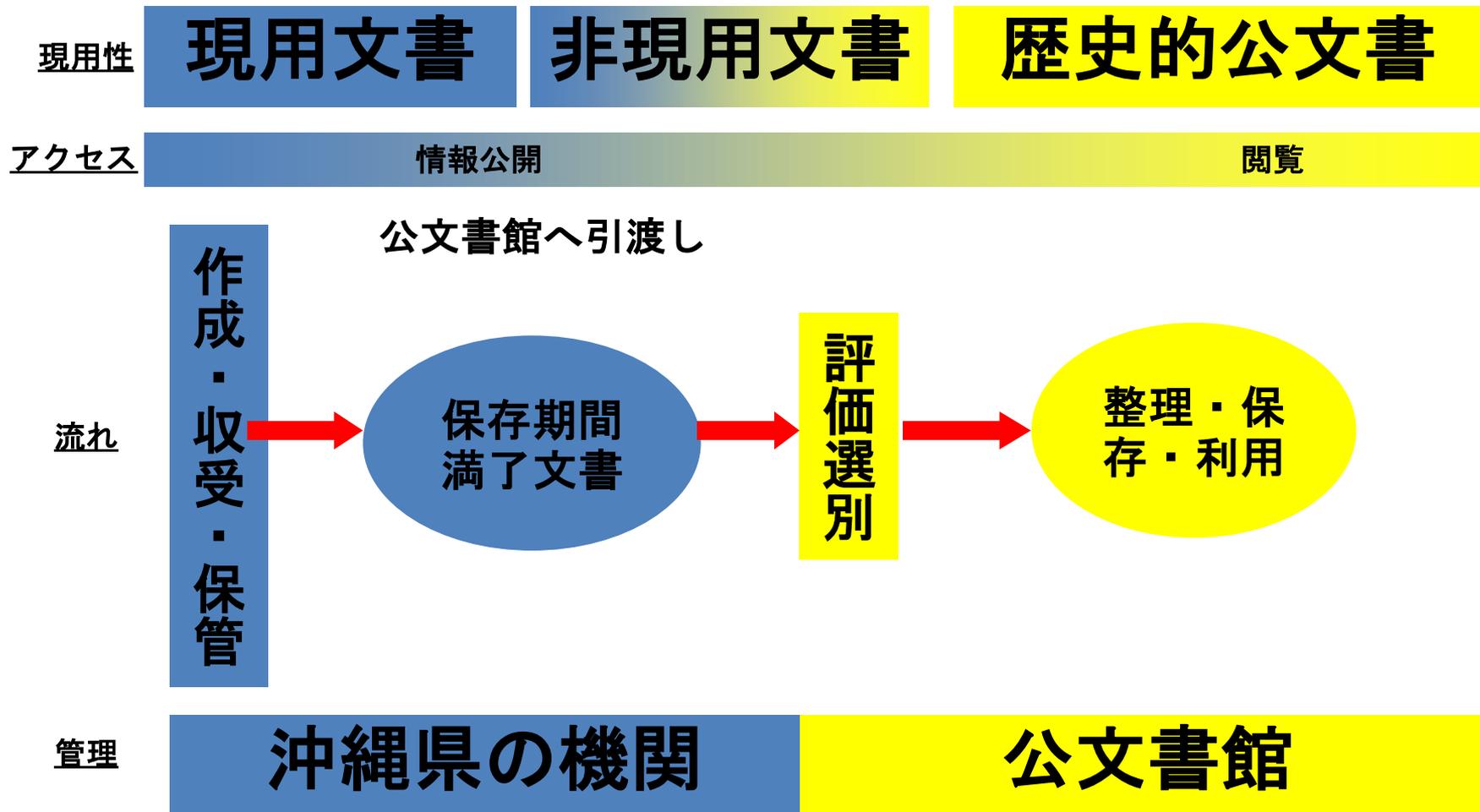
# 公文書館とは何か

## 公文書館法の精神

現用でなくなった後にも公文書を保存する意義を示した

# 記録のライフサイクル について

# 記録の「ライフサイクル」= 流れ



# 公文書館のニッチ(生態的位置)と機能評価

公文書館のニッチ・・・

図書館

博物館

郷土資料館 etc.

とは違うもの

では何が公文書館か？

全国にいくつ公文書館がある  
か？

実は確定できない

公文書館機能の充実度を連続的にと  
らえるべきであろう

全国歴史資料保存利用機関連絡協議  
会(全史料協)による全国調査  
(2009)→名乗っていないくとも、公文書  
館機能存在

# 公文書館機能の自己点検・評価指標 案(全史料協調査・研究委員会作成)

- ・ミニマムモデル(努力を評価、設置支援)
- ・ゴールドモデル(既存館の充実向上支援)

アカウントビリティー

か

レスポンスビリティー

か

# レーガン演説における使い分け

Several weeks ago in New Orleans, I warned Colonel Qadhafi we would hold his regime accountable for any new terrorist attacks launched against American citizens. More recently I made it clear we would respond as soon as we determined conclusively who was responsible for such attacks.

President Ronald Reagan's Address to the Nation on the United States Air Strike Against Libya, April 14, 1986.

# レーガン演説における使い分け

数週間前、ニューオーリンズで、私はカダフィ大佐に、これから先、米国市民に向けて決行されるいかなるテロ攻撃においても、彼の政権をアカウンタブルにしておくぞ、と警告しました。さらに最近になって、そのような攻撃の責任者が判明し次第、われわれは報復を行うということを明らかにしました。

米軍によるリビア空爆についての国民向け演説  
(1986年4月14日 合衆国大統領ロナルド・レーガン)

# 感想戦とダウトゲーム

アカウントビリティーか  
レスポンスビリティーか

アカウントビリティー

ダウトゲーム

インチキではないか？

— 情報公開の世界

アカウントビリティーか  
レスポンスビリティーか

レスポンスビリティー

感想戦

過去の検証、教訓

温故知新

—公文書館の世界

# 記録のピラミッドと 危険水域について

# 記録のピラミッド

(時間は上方向に経過)



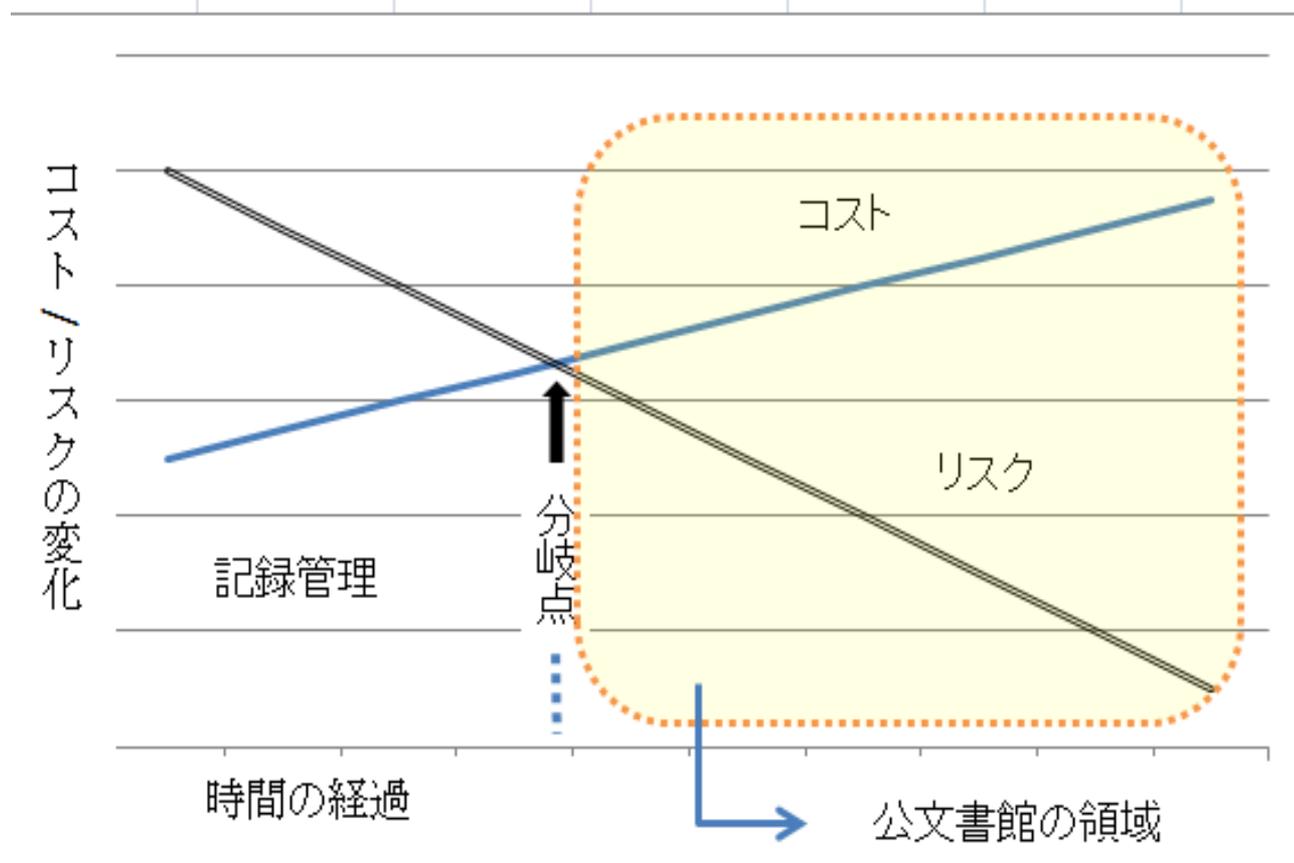
# 善意が公文書館を支える～ 沖縄県職員の事例

なぜ善意か？

—事例紹介前に

# コスト負担：誰が誰のために？

## 現用/非現用文書のコスト/リスクバランス



公文書館事業＝数百年スパン

会うこともない将来世代のために…

直続世代にリレー

街道に苗木を植える

善意と想像力

# 沖縄県職員の記事

# 県職員の声（比嘉さん）



責任を持って文書を保存し、それを公文書館へ  
引き渡すことによって、広く県民に利用される  
までが、行政のサービスと言っても過言ではな  
いかと思います

「自分の作成した文書が公文書館に残り、歴史的  
価値のある資料として何十年、何百年も後  
の世に伝えられていくとしたら何とも感動的な  
ことでしょう。」

# 県職員の声（屋良さん）



公文書館では、私たち行政職員が作成した文書が評価選別され、整理されて大きな書庫に收藏されていました。公文書は一時の用のためのものではなく、重要なものは県民の財産として永久に残るのです

「行政職員 の皆さんには、公文書館にぜひ足を運んで実際に見てください、と申し上げたいです。私たちの仕事が公文書館でいかに残されていくのか、そしてそれが後の世代のためにどのように活かされていくのか。このことを意識することで、私たちの仕事のあり方も変わってくると思います

# 県職員の声（大城さん）



当時の職員が一生懸命にやった仕事は後世に引き継いでこそ価値があるのだと気づかされました。

私たちがかかわった人事委員会での公文書引渡しは、最初の一歩でしたが、このような地道な作業を繰り返すことによって、当時の職員のやってきたこと、そして現在の職員が公文書を通してやっていることを後世へ橋渡しする次のステップに繋げていければいいなと願っています。

# 県職員の声（大宮さん）



これらに記載されたメモ書きなどに接していくうちに、琉球政府時代の職員がいかに熱心に勉強していたかがわかり、その仕事ぶりに感激しました。

価値ある文書を保管庫に眠らせておくのではなく、公文書館へ引渡すことによって県民に公開され、生まれ変わっていく— そのことでますます文書の価値が活かされていくのだと思います。

# 県職員の声（國場さん）



重要な事業の文書ほど担当者がかかわると管理できなくなるという現実があります。それならば公文書館と相談の上で引き渡して、書架に「眠っている」文書を広く長い目で県民のために活用してもらおうほうがよいと思います。

なによりそれは、自分たちが関わってきた仕事の価値が、公文書によって将来に伝えられて行くことだと思うのです。

将来世代のために木を植える

善意と希望と想像力

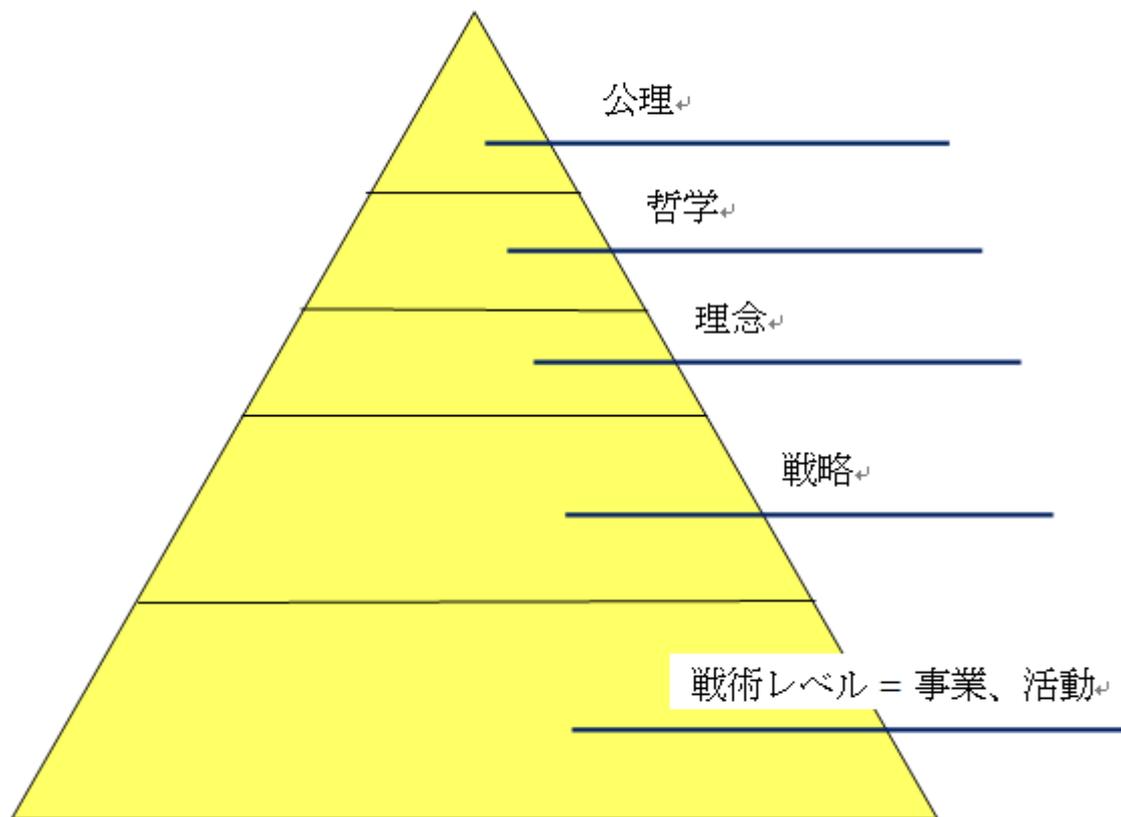
## 2. 開設期の留意点

- 初期値設定の重要性
- 戦略は理念に、理念は哲学に従属させよ
- 危険な万能感
- 政治とのつきあい方
- マスコミとのつきあい方
- 組織評価の問題に向き合う
- 人材についての考え方

# 初期値設定の重要性

戦略は理念に、理念は  
哲学に従属させよ

# そして哲学は・・・



危険な万能感

# 政治とのつきあい方

公文書館の政治化を避ける ※歴史認識論争  
政治家との距離感と事業の永続性

# マスコミとのつきあい方

センセーショナリズムにおもねらない

「目玉資料」は存在しない

公平・公正

理想・理念を貫く・・・パブリック・ドメイン

# 組織評価の問題に向き合う

衆目にさらされ、評価され、批判を受けることが組織を救う

透明性、アカウントビリティ

「被害者意識」の払拭

「内と外」の境界を取り払う

# 人材についての考え方

行政全体、社会全体が人材供給源

コミットメント

閉ざされた専門集団は組織を滅ぼす

# 3. 札幌市公文書館の未来

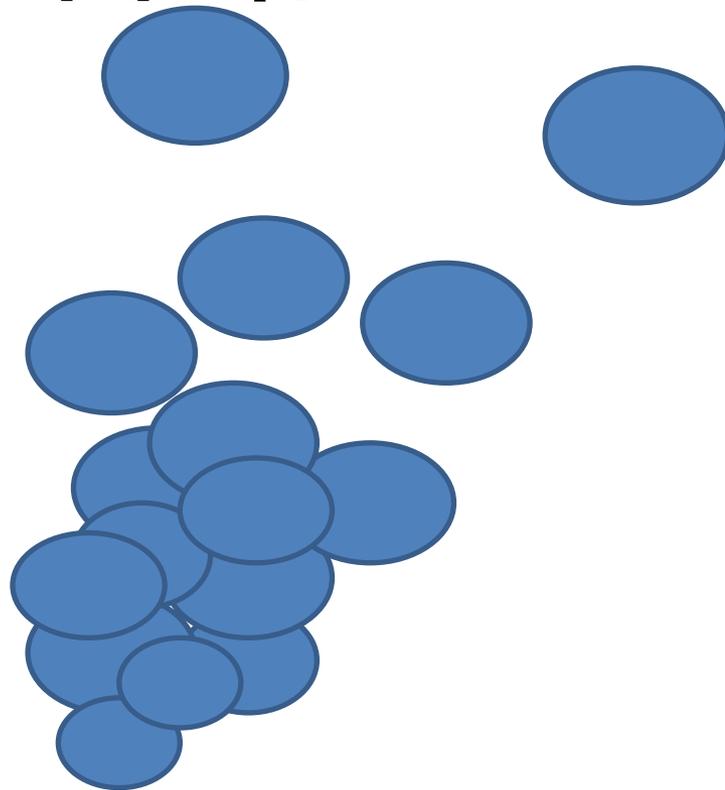
- 大切なことは目に見えない
- 公文書館バブルが来る
- 淘汰圧と進化
- 裾野の広がりと頂点の高まり
- 衰退の芽は創業時に胚胎している
- 衰退と再生～ある図書館の話
- 洞察と布石

大切なことは目に見えない

Le plus important est invisible.

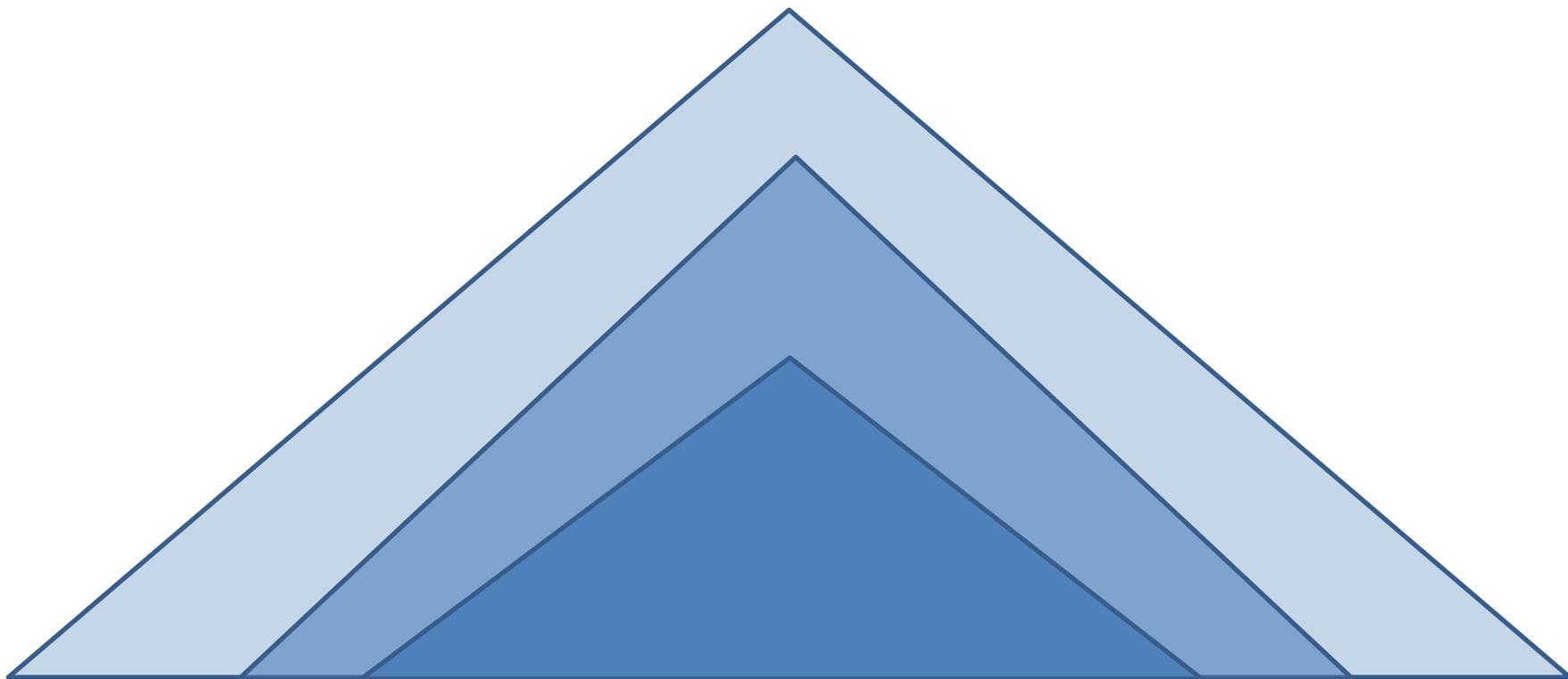


公文書館バブルが来る



# 淘汰圧と進化

# 裾野の広がりと頂点の高まり



# 衰退の芽は 創業時に胚胎している

制度化の持つ宿命

ルーティン化、誰でも同じように

考えることをやめる

慣れる 作業工程の劣化 ex. JCO事故

既得権化する、ドグマ化する

# 衰退と再生～ある図書館の話

予算削減と郷土資料の危機

施設設備の老朽化

本庁の県民も事態を知らない

→改革開始、しかし頓挫すると思われた

司書出身管理職による中興、あらゆる資源の

活用

# 洞察と布石

人間性への洞察

組織への洞察

無関心こそ最大の敵

社会性を担保する仕組みを

どう仕掛けておくか(目に見えない部分)

## 4. おわりに

将来世代の代理人たちを見いだせ

善意とコミットメント=傍観者効果の排除  
周困への影響

ご静聴

ありがとう

ございました